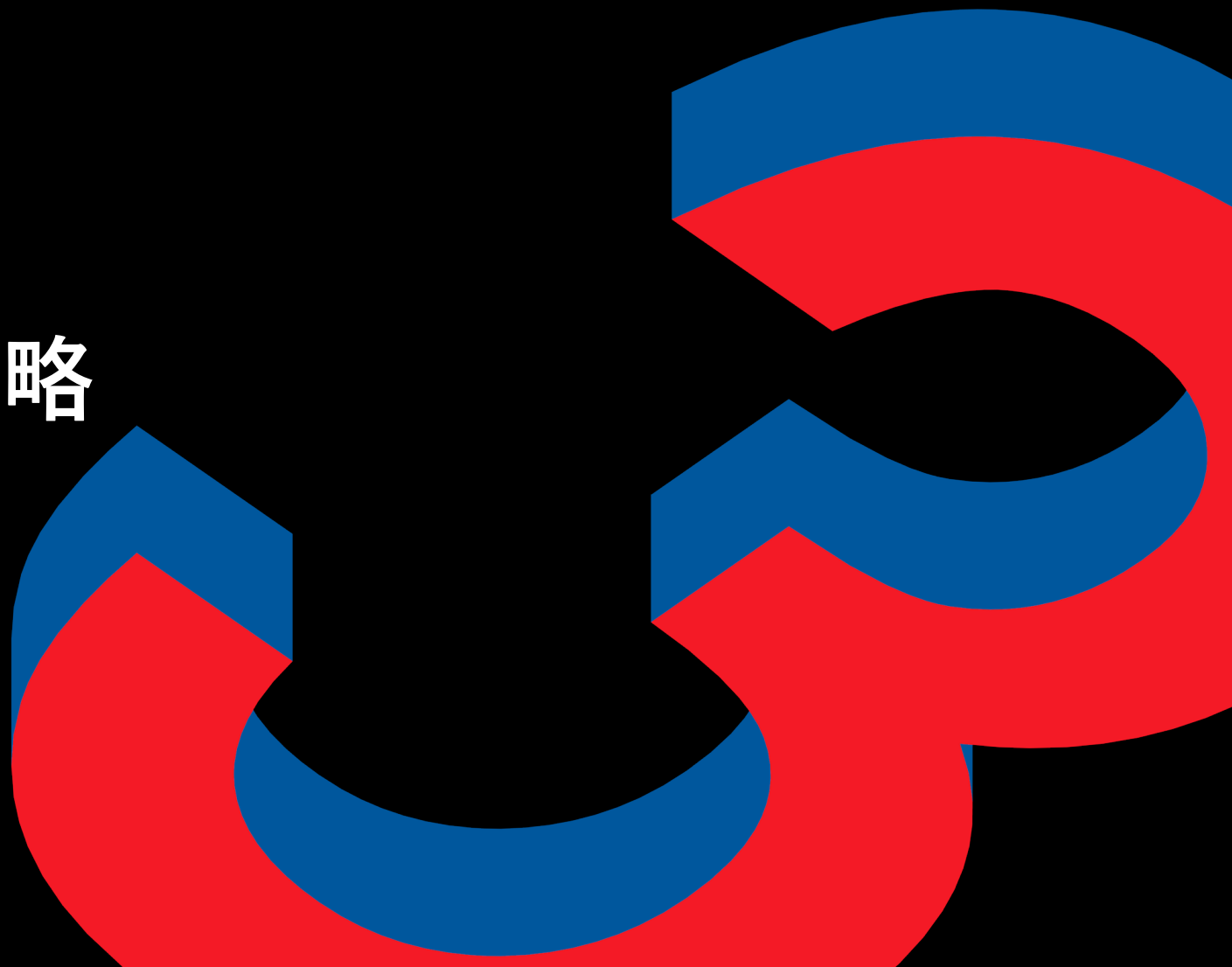


sansan

IR Day

ビジネスデータ戦略

Sansan株式会社 2024年2月15日





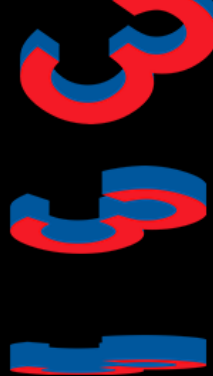
塩見 賢治

取締役／執行役員／CISO／DPO／技術本部 本部長

株式会社物産システムインテグレーション（現・三井情報株式会社）で、大手携帯キャリア向けのメールシステムの設計・開発責任者などを務めた後、2007年にSansan株式会社を共同創業し、2012年から名刺アプリ「Eight」の事業責任者を務める。現在は、技術本部の本部長として技術戦略や組織強化を指揮。2023年からSansan Global Development Center, Inc.の代表取締役社長に就任。

Agenda

1. 開発体制
2. ビジネスデータ戦略
3. セキュリティに関する取り組み



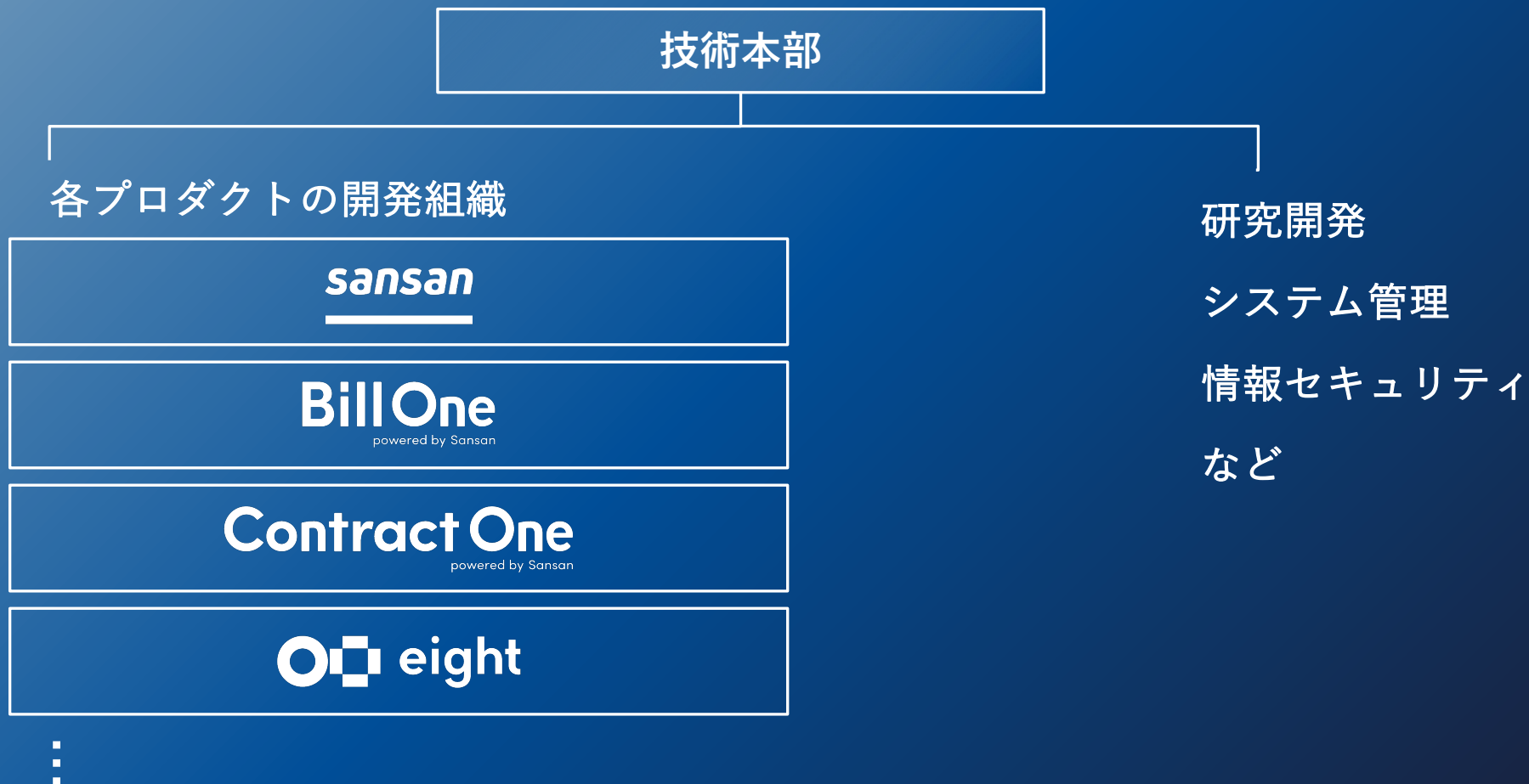
開発組織におけるビジョン

世界のビジネスを変える、技術者集団であれ



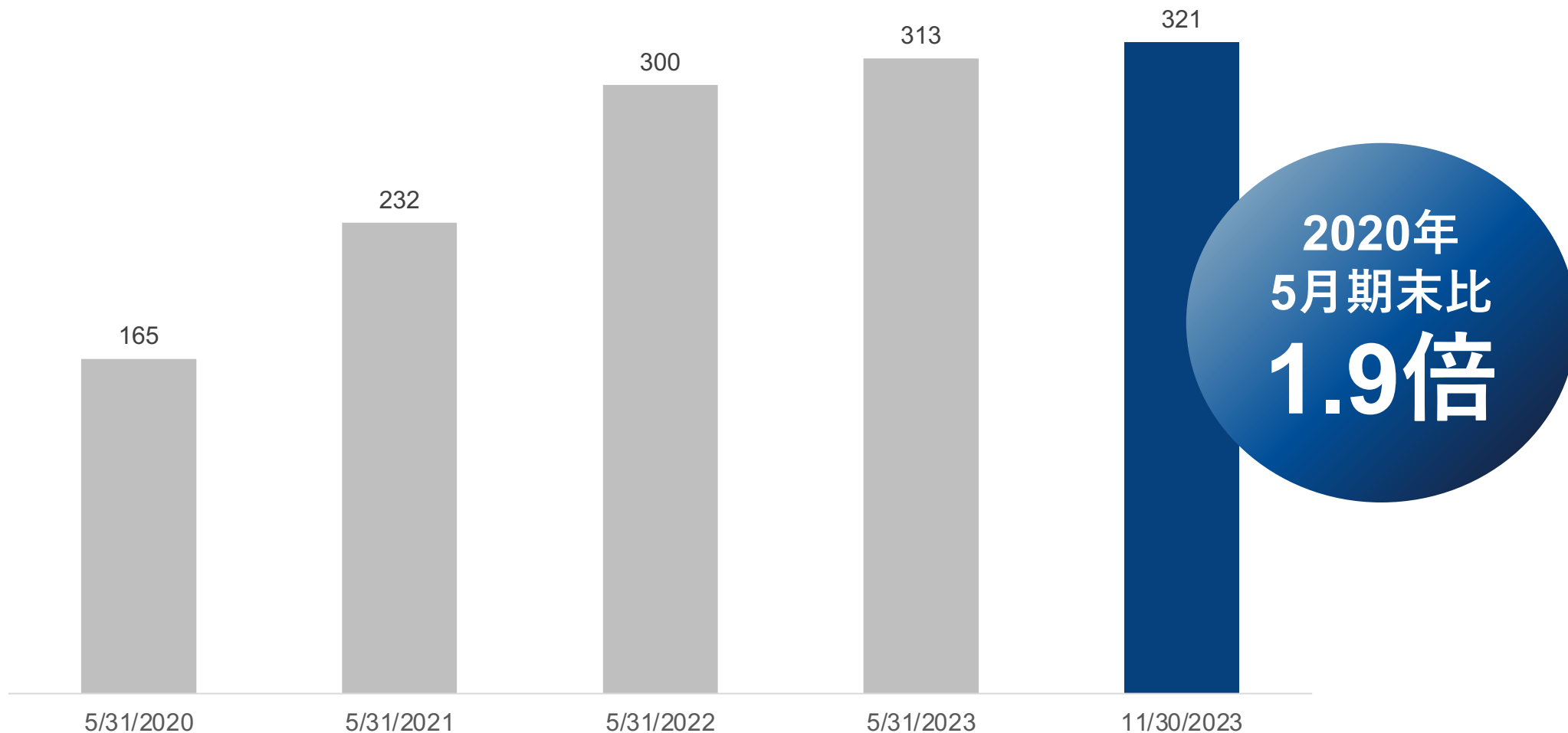
当社の開発体制

- 2021年7月に各サービスの開発部門を1つの組織の下に集約
- 機動的かつ柔軟な人材配置が可能となり、開発スピードが向上



開発の人員数 (1)

採用強化に取り組んだ結果、人員数は、2020年5月期末比1.9倍に増加



(1) Sansan株式会社単体（セブ拠点除く）、EC職（エンジニア）のみ、アルバイト、派遣、業務委託除く

主な研究開発分野

- 2023年11月時点で研究に従事する人材が約50名所属
- 新たなビジネスシードを生み出すための体制を整備

画像処理・画像認識

自然言語処理

機械学習

コーポレートデータサイエンス・因果推論

データ可視化
プロダクトマネジメント

海外での開発強化と拠点の設立

2023年にフィリピン・セブ島に

開発を担うグループ会社、Sansan Global Development Center, Inc.を設立



海外開発拠点の人員数推移

積極的な採用活動を進め、2023年11月時点で人員は30名超に拡大



ビジネスデータ戦略



ビジネスデータ活用プロセス

生成

整理

活用

ビジネスデータ活用のプロセス：生成

生成

ビジネス上のアナログ情報を
デジタル化し、集積する

整理

活用

基盤となる技術とオペレーション

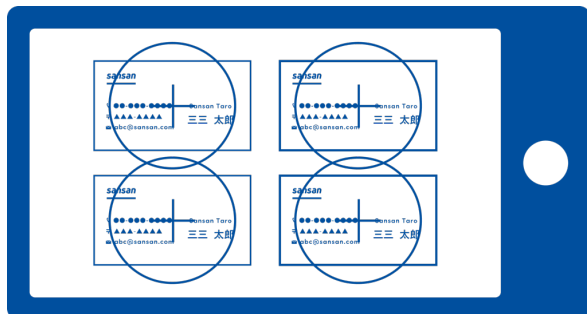
- テクノロジーと人による手入力を組み合わせた独自のデータ化オペレーションを確立
- 迅速かつ 99.9%の精度でデータを生成



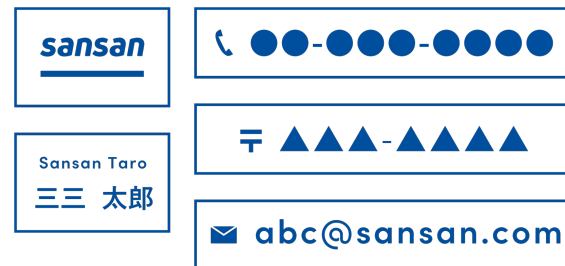
大量のアナログ情報を、迅速かつ正確にデータ化

画像認識技術

さまざまな技術の開発により、迅速かつ高精度のデータ生成を実現



スマートキャプチャー



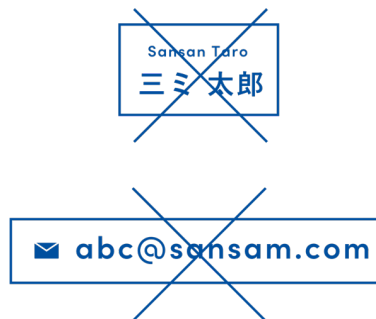
項目セグメンテーション



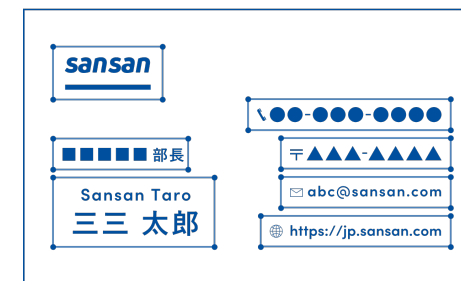
日本語

英語

言語判定



ミステイクディテクター



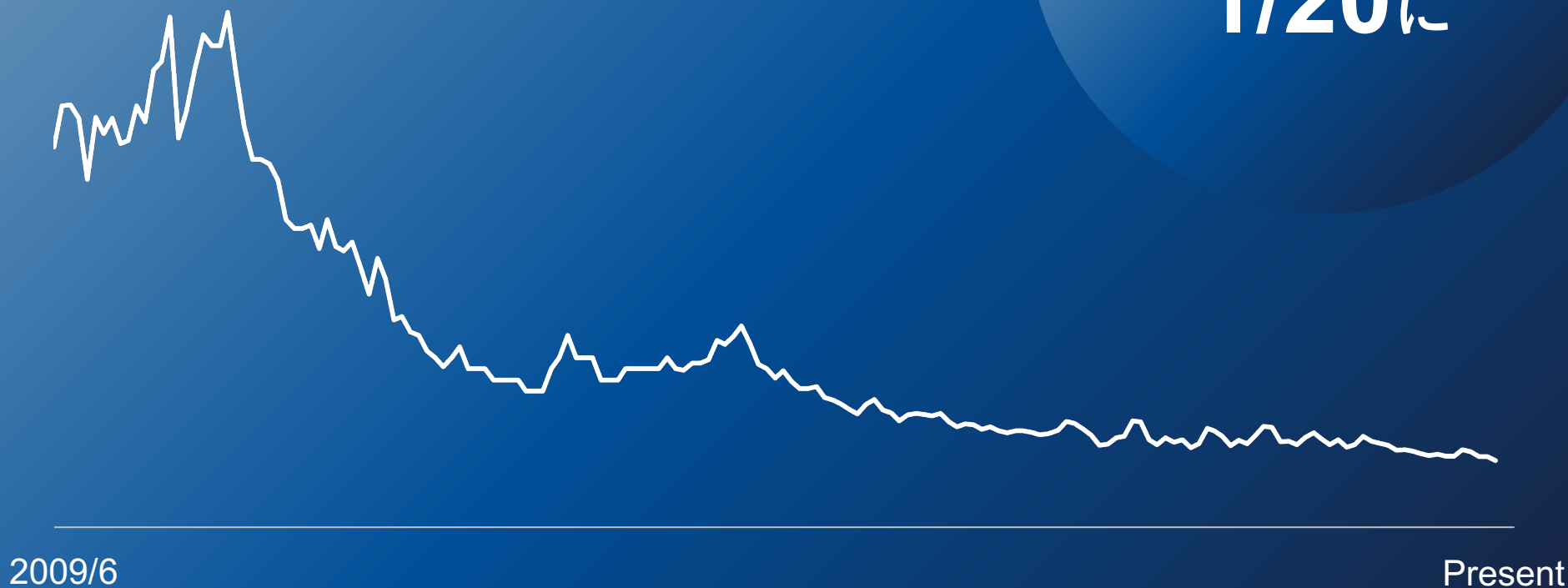
NineOCR
(名刺に特化したOCRエンジン)

AIの活用によるデータ化の効率化

- 創業から人力を介したオペレーションを通じて、膨大な数のデータ化を実施
- 正解データを元にAIによる機械学習が進み、自動データ化率が向上したことで、データ化コストが低減

名刺データ化コスト

16年間で
1/20に



ビジネスデータ活用のプロセス：整理

生成

整理

活用

データを正規化、リッチ化
使用できるデータの形とする

データの整理

統合エンジンの開発や高度な技術を用いて、データの整理を実現

データの統合



データの正規化



データのリッチ化



ビジネスデータ活用のプロセス：活用

生成

整理

活用

データを有効に活用できる

サービスや機能、機会を創出

各サービスにおけるデータ活用

各サービスにおいて、有効にデータ活用ができる機能や機会を提供

sansan



eight



BillOne
powered by Sansan

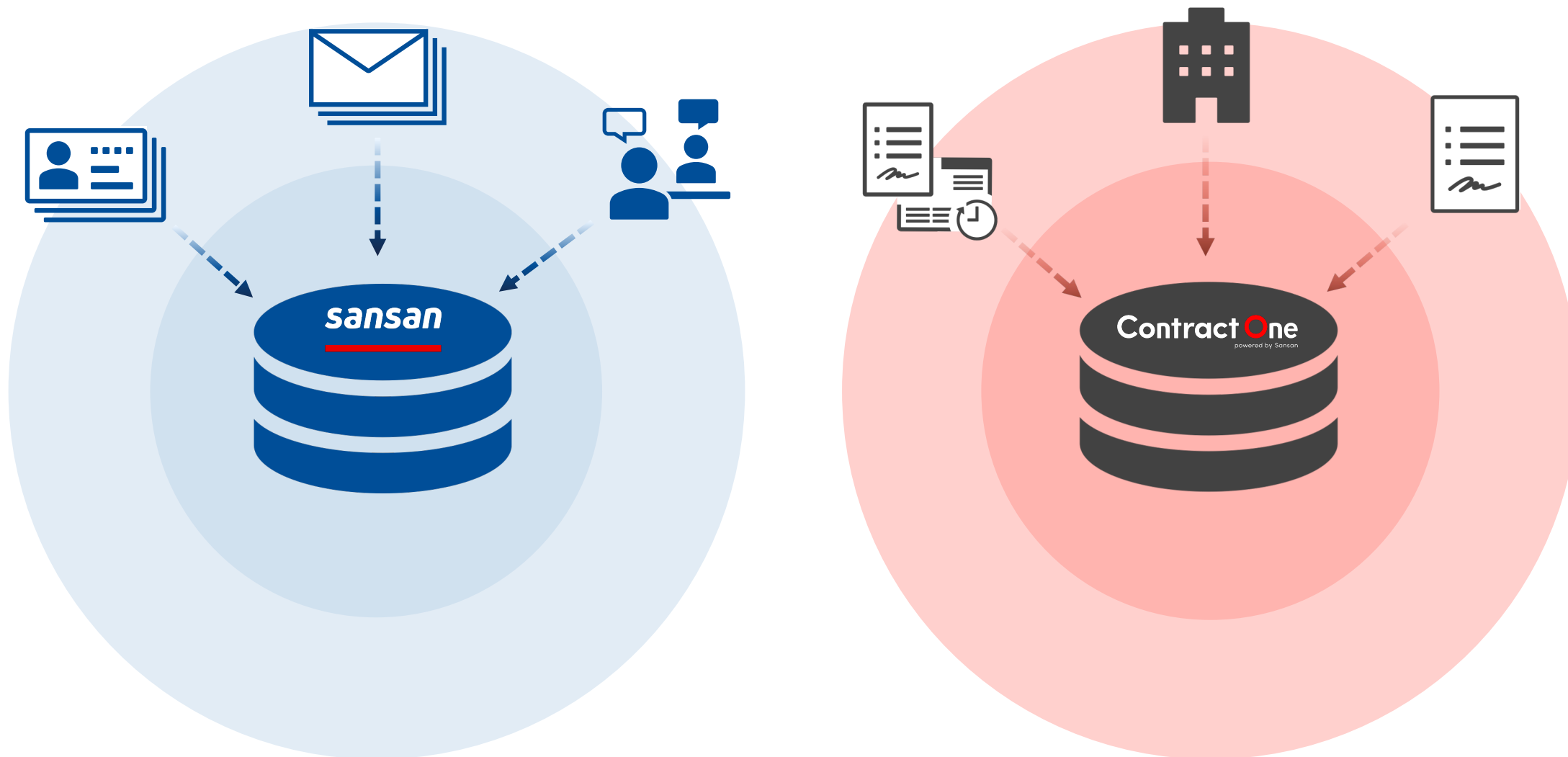


ContractOne
powered by Sansan



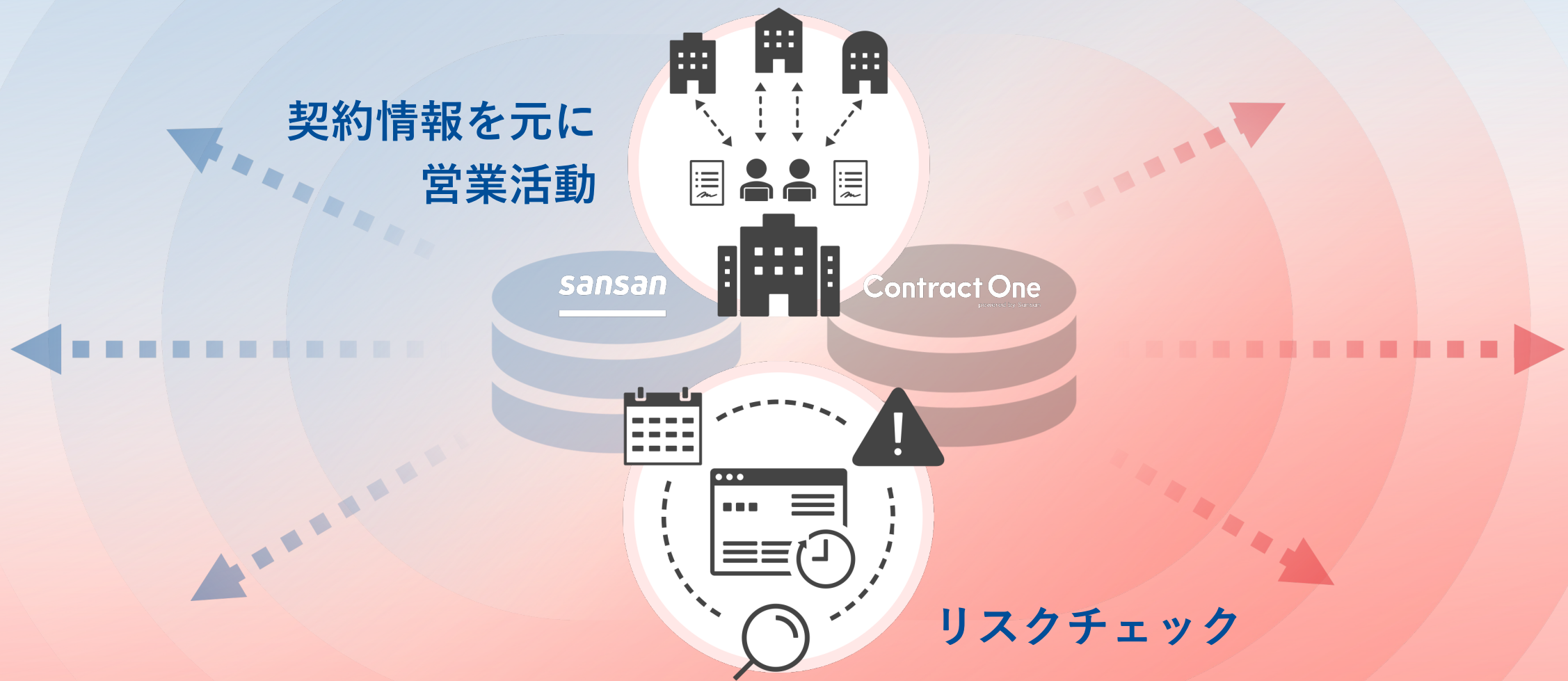
サービス間でのデータ連携

営業DXサービス「Sansan」と契約データベース「Contract One」でデータを連携



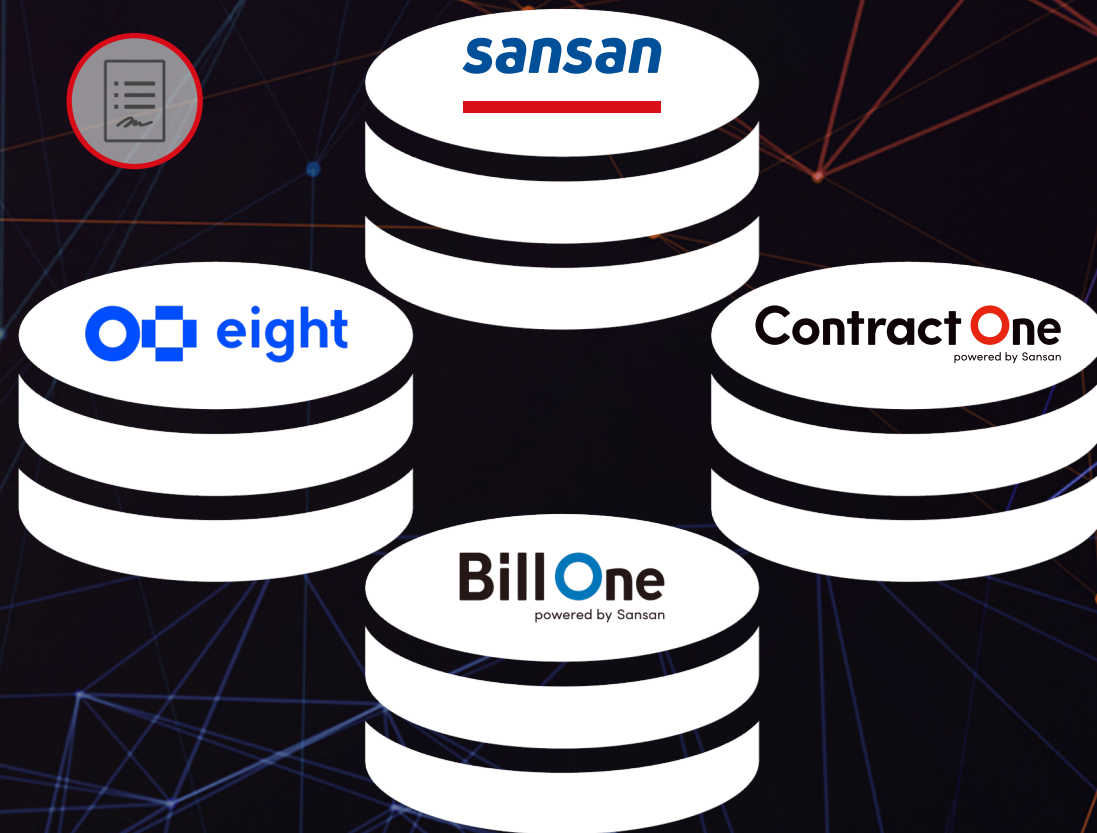
サービス間でのデータ連携

活用データの連携により、新たな価値・効果を提供



さらなるデータ連携の可能性

- 人流・商流・金流データを可視化し、連携させることでユニークな価値を提供
- 当社独自の技術やデータを活かし、データ活用の観点からさらなる成長機会を追求



セキュリティに対する取り組み



セキュリティと利便性の両立

セキュリティは当社の生命線であり、マテリアリティの1つに特定

1. 安全かつ安定的なインフラサービスの提供
2. データプライバシーの保護と情報セキュリティの徹底



評価指標	2030年5月期目標 (1)	2023年5月期実績 (1)
重要なインシデント発生件数	0件	0件
個人情報保護士取得率	80%以上の維持	88.0%

(1) 当社単体の実績・目標

第三者認証と外部評価

- セキュリティに関するさまざまな第三者認証を取得
- セキュリティの取り組みに対して外部から高い評価を獲得

各種
第三者認証

- プライバシーマーク
- ISO/IEC 27001
- ISO/IEC 27017
- 電子取引ソフト法的要件認証

S&P Information Security/ Cybersecurity & System Availability 評価

当社スコア **66** (上位6%)

企業平均 **28**

※0~100で評価
2023年実績に対して評価

MSCI Privacy & Data Security 評価

当社スコア **8.6**

業界平均 **6.8**

※1~10で評価
2023年2月16日更新

sansan



免責事項

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。